



ひこね・公共交通

2009.1.1 発行 彦根市公共交通活性化協議会

ニューズレター Vol.4

彦根市の公共交通に関する アンケート調査結果

ご協力
ありがとう
ございました!



1 現在の交通機関の利用状況

「バスをほとんど利用しない」 **8割**

日常の外出は「クルマで移動」 **6割**

アンケート調査実施概要

- 調査対象** 住民基本台帳より約4,100世帯を無作為抽出
- 調査時期** 2008年9月19日配布～2008年10月6日締切
- 調査方法** 各世帯にアンケートを3部同封し郵送による配布回収
- 回収数・率** 有効回答数:2,438件 回収率:約2割

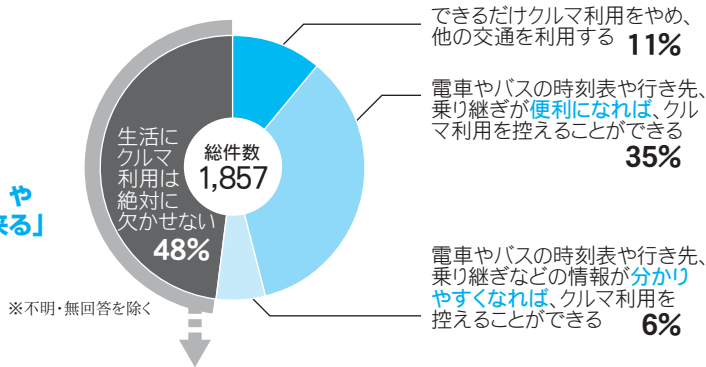
多くの人がクルマで移動し、バスの利用は極めて少ない状況です。

では、クルマ以外で移動することはできる!?

2 電車やバスを便利にすればクルマ利用をもっと控えることができる

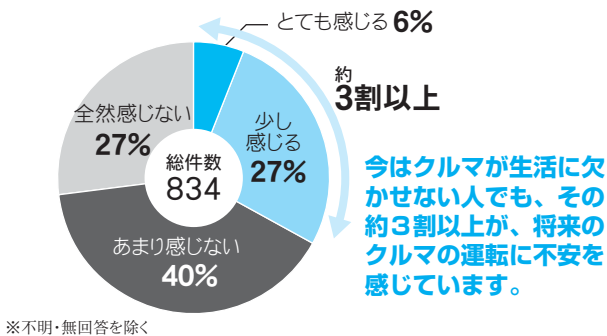
環境、健康のことを考えて他の公共交通機関に変えようと思うか?

約半数が「他の交通手段を利用する」や「クルマを控えることができる」と回答

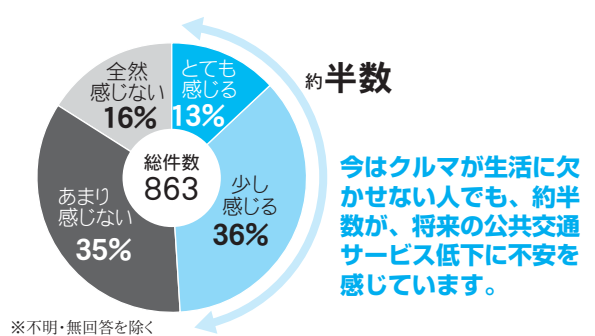


3 現在、生活にクルマが欠かせない方の将来の「移動」に対する思い

将来の運転に対する不安



将来の公共交通のサービスの低下に対する不安



将来もずっと市民の安全な「移動」を支える公共交通を残していくために…

ここではアンケート調査の一部を紹介しています。詳細はこちらからご覧いただくことができます。

<http://www.hikone-bus.net/>

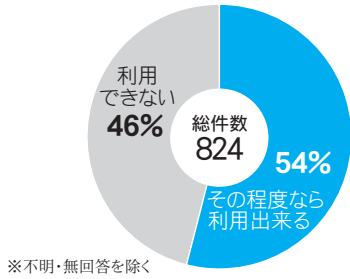
もしくは

彦根市 バス

検索

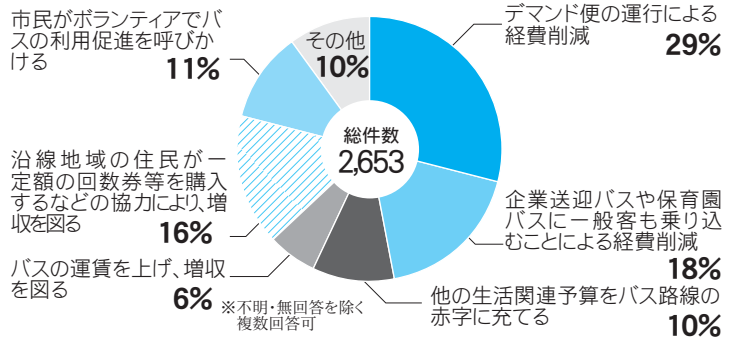
4 現在、生活にクルマが欠かせない方でも、半数以上の方は年数回程度のバス利用には協力的

年間2～3往復のバス利用の可能性
(「生活にクルマが欠かせない」と回答した人)



5 利用の少ない路線は予約型の運行等によるコスト削減や市民の協力が必要

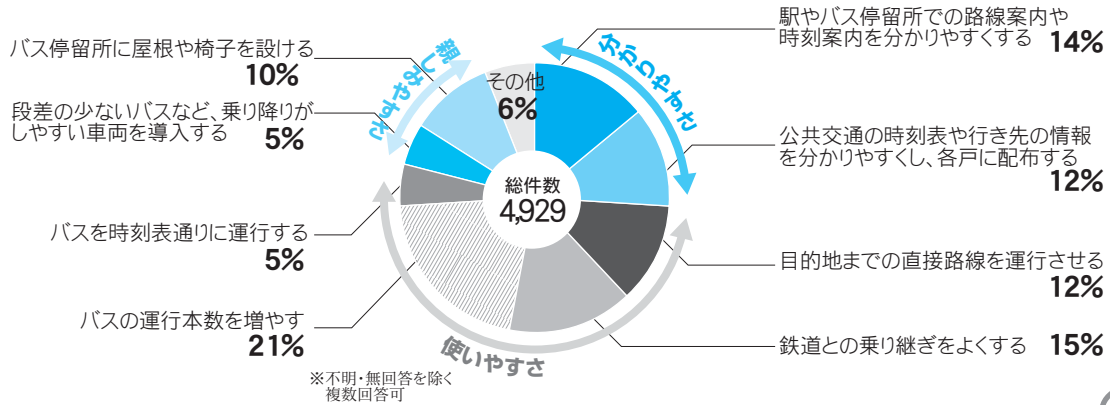
赤字を抱えるバス交通を支えるための取組



公共交通をもっと元気にするために

6 使いやすくすると同時に分かりやすい情報提供が重要

より多くの方が公共交通を利用するために必要な取組



多数のご来場ありがとうございました

シンポジウム「みんなで考えよう～明日のひこねの公共交通」を開催しました

「わたしたちが変える」ひこねの『交通まちづくり』をテーマにしたパネルディスカッションや『ひこねバスコン』の結果発表を行いました。パネルディスカッションでは公共交通を盛り上げていくために誰がどのように関わることができるかなど、熱心な議論が交わされました。

ひこねバスコンの結果

- 最優秀賞**
『エコバスが運ぶ幸せ』
高居 涼佳さん
- 優秀賞**
『彦根市公共交通近代化計画案』
田村 遼太郎さん

来場者アンケートで寄せられた主なご意見

- ▶ バスは普段ほとんど利用しないので、考える機会もなかったが、今日の話聞いて、行政にまかせっきりにするのではなく、市民の協力が必要だと分かった。
- ▶ 車に頼っている今の生活をガラッと変えることはできなくても、少し変えることが大切。せかせか生きるのではなく、ゆとりあるライフスタイルに変えられれば、それが公共交通の利用につながり、正の循環につながると思う。まず、自分が変わることからできればと思う。



▲ パネルディスカッションの様子

公共交通連携計画に活用していきます

編集後記

シンポジウムでは大阪大学森栗教授の迫力ある講演や市民を交えたパネルディスカッションでの率直なご意見など、たいへん有意義な内容になりました。市民の皆さんの貴重な意見を参考に、「交通まちづくり」について、皆さんと一緒に考えて、議論し、彦根市の公共交通を盛り上げていきたいと思えます。

彦根市の路線バスをより良くするためのご意見をお寄せ下さい

彦根市公共交通活性化協議会

(事務局) 彦根市役所交通対策課
〒522-8501 彦根市元町4番2号
電話：0749-30-6134 FAX：0749-24-8517
e-mail：koutsutaisaku@ma.city.hikone.shiga.jp

【協議会の構成】

湖国バス(株)、彦根観光バス(株)、彦根近江タクシー(株)、(社)滋賀県バス協会、滋賀県タクシー協会、私鉄滋賀県協議会、彦根警察署、滋賀大学、滋賀県立大学、聖泉大学、彦根市身体障害者更生会、彦根市老人クラブ連合会、近畿運輸局滋賀運輸支局、湖東地域振興局建設管理部、滋賀県、彦根市